

杜子春

杜子春はもと金持ちの息子でしたが、財産と友人を失ってしまひ、老人やリ洛陽の都で空を眺めてゐると片目眇の老人に出会い、老人の勧めに従ひ、大金持ちになつたが、老人のばりして二度も金と友人を失つてしまひ、私の小学校時代の友達が、宝くじを当てて大金持ちになつたので、その影響で彼の父が仕事をやめてしまひ、宝くじの賞金をすべて使ひ、回し切つてしまひ、貧乏になつてしまひました。私も宝くじに入るとすぐに使ひ切つてしまふので、まさか身近でそんな事が起きるとは思ひませんでした。その後、その友達の友達の一人が、彼から距離をとるようになりました。私は当時、なめて薄情な人だと思ひました。三はあまり田舎な人はいくら大金を持っていても、ぜいたくばかりしてゐると、すぐに使ひ果たしてしまひ、次で追従するようになつてゐる財産人の心を思ひやれる人になつたと思ひます。

(文を短く二つに分けるといい)

ひつてりの事例だったね。感想もなかなかいいよ

